

あまでうす

小生が卒業した小・中学校の学び舎の校庭、それも職員室前の木木がこんもりと茂った処に、薪を背負い本を読む姿の石造が立っていた。二宮金次郎像である。天明七年（一九八七年）相模国足柄上郡（現在の小田原市）の貧しい農家に生まれた金次郎は、幼い頃から勉強が好きで、十四歳頃には朝早く山に薪を取りに行くのが日課であった。取った薪は、遠く小田原城下の町まで売りに行っていた。その歩いている間の時間にはあらゆる本を読んでいた。それが村で評判になったが、それは決して良い評

判ではなかった。本を読む時間があつたならもつと多くの薪を背負い百姓をする。当時はそんな見方をされる時代でもあつたのだ。以前にも趣味の事を書いたが、そのひとつに読書がある。読書には、三つの機能があると云われている。第一は「先生や親が教えてくれない様な事を教えてくれる」第二は「他の人の経験を自分の中に取り込める」第三に「書く力を向上させてくれる」自身を振り返れば、小・中学校時代は作文がしこたま苦手であつた。夏休みの課題に毎年と云つて良いくらい「読書感想文を書く」とか、授業で「ひとつのテーマを決めて作文を書きな

さい」何ていうのは不登校にも成り兼ねない課題で、精神的に悩ませた問題だった。要は考えをまとめる能力が無いと云う事だ。云い変えれば、材料を集めてアウトラインを考えるのが苦手で、小説で浮かばないのである。ところが、本を少しづつ読む様になつてからは、感想文のまとめ方が段階的ではあるが解かる様になつてきた。つまり音楽で云うソナタ形式で書けば良いのだと気付いた（この頃既にクラシックを聴く様になつていた為、音楽の三要素が解かつていた）。提示・展開・再現コーダ、これを読書に当てはめ

てみると導入部、展開部、結論と云う三つの要素で成り立っている事が解かる。これを書き始めると、本をどう読むかが解かってくる。そのお陰もあつて、毎月「風地蔵新聞」に下手乍らも書かせてもらっています。読書法のひとつに『濫読をせよ』と云う方法がある。ある作家が『濫読の良いところは、書物の方で自分の資質を教えてくれる。自分がどの方向に進んだら良いのかというのには、多くの分野の書物を読まなければ解からない。その中でも歴史を読むべきだ』と云っている。また本はベストセラーの中から読

めともよく云われるのも、そこに読書たる理由があるのではないだろうか。本を読んでも時間が無い。と云う人をよく聞かすが、それは時間をも有効に使っていない。何故なら時間を作るもので、待つているものではないのだ。時間が無いから本を読まない人生を選択するのか、それとも時間を作つて本を読むのかは、この先の日々是好日と身過ぎ世過ぎをどの様に送るかに懸かっているのではないでしょう。これが自分の『読書』に関する結論である。

風地蔵新聞

第148号

編集 白石美帆 発行 風地蔵
〒503-0922 岐阜県大垣市馬場町85
感想・エッセイ・おちまお待りなご歌りお便り
歌りお便り
短歌便り

甘い思い出

大橋 美紀

もうすぐバレンタインですね。聖バレンタインデーは2月14日に祝われ、世界各地で男女の愛の誓いの日とされていますが、もともと269年にローマ皇帝の迫害下で殉教した聖ウァレンティヌスに由来する記念日だと伝えられています。今、日本でもチョコレートが1年間で一番売り上げが上がる

イベントになつていきますよね。昔は各メーカー明治やロッテなどが告白用にと売られていましたが、現在ではデパートはもちろん、スーパーやコンビニでも鏡開きが終わると特別コーナーが作られ大イベントとなりました。名古屋の高島屋は毎年開催されている恒例イベントで、16回目。そして全国百貨店で開催されているバレンタイン催事の中でも売り上げと規

模とも日本一のイベントで国内そして国外からおよそ150ブランドのチョコレートが集まるそうです。私は行った事はないのですが、TVでのごいと毎年この時期毎日のように伝えられていますよね。私のバレンタインの想いは、中学生の時に好きと思う乙女心。いつもドキドキ、もちろん同じ中学で同じ部活でした。もうすぐバレンタインデー

という時、仲の良かった友達と大垣では大したチョコレートはないと思うからと、電車で岐阜の高島屋へ買いに行きました。その頃は岐阜の高島屋でしか、たくさんチョコレートを買った。会場に着くと、どこからこんな人かと思ふほど年ごろの女の子でいっぱいでした。そしてチョコレートが多きにもビックリ。たった一つのチョコレートを買うのに会場を何回も何回もぐるぐる廻り、決まるまで2時間はかかっ

たんではないでしょうか。35年前の13歳の私にとって一生で初めての告白だったからでしょう。今、思い返せば笑っちゃいます。今、いそうな話ですがね。（笑）バレンタインの当日まで、買ったチョコを部屋でドキドキして見ていた事も思い出します。勇気を出してチョコレートを渡して告白したのですが、その子には彼女が居たんです。もちろん知っていた私でした。でもその頃は重いだけでも伝えようとダメ元での告白だったのです。

原 由里子

風地蔵は、生協コー

す。 プギふに入っています。 週1回、食品、雑

「面白そうだな」日 付を見て休みを確認 します。 時間は10時30

くりできるもので、何 も断る理由がないので

農協で場所を教えて もらいなんと到着

ます。その上に酢飯 100gをのせます。

あるようので、黒酢造 りはつぼの中でずーっ

つかあつて立って作 業をすると思ってい

分に切った後、どち らも2分の1に切り、

次に魚肉ソーセー ジの鼻を置いて、玉

アルコールから発 酵して、お酢を造る

あまり汚れる心配は なさそうです。 受付で名前を告げ、

目は、1枚目の海苔 の時に半分にした後、

ていたんですが、巻 きすのせて巻いて

お酢は料理だけじゃ なく、キッチンまわ

ちよつと立ち話

身内だからこそ、
神経を使わな、あ
かんよね。(常連
のNさん)

新聞読んだよー。
よく勉強してるよ
ねー。若いうちに
勉強しとくと頭に
入って忘れへんで。
(お琴の先生)

店長がいつも社長
の相談や悩みを毎
朝電話で聞いてい
るの。内容はいま
す。内容までは知
らないですが。ケ
ンカするほど仲が
よいと言いますが、
ケンカもほどほど
で。
法月先生は本当に
ポジティブです。

初めてづくし

鎌澤 宣子

大みそかの紅白歌
合戦が終わってすぐ、
あたたかい恰好をし
て、島町の泉宗寺に
除夜の鐘を撞きに行
てきました。初めて
だったのでワクワク
ドキドキしながら撞
きました。自分で撞
いた鐘の音が、あた
りにこだまして響き
ます。心が洗われる
ような気がしました。
除夜の鐘には、1
年のけがれ(煩惱)
を落とすという意味
もあるそうなので、
なんだかすっきりし
たと心の途中で思
いました。
除夜の鐘を撞きに

名古屋まで習いに
行ったり、新しい
ことにチャレンジ
しています。見習
うべきところはい
っぱいあります。
着物のコレクション
を見て行った話
を聞いて、どんな
着物が展示してあ
つたのか、見に行
てみたかったです。
遠いのでなかなか
行けず話だけで終
わりました。
クリスマス会。楽
しそうですね。家
ではケーキとチキ
ンを食べてクリス
マスは終わります。
(原)

家族ほど本当に神
経を使わないとい
けない。親だから
子供に何をしても
いい、何を言っ

もいい事はない。
一番気をつかうん
だ。着物がコレク
ションに行かれて、
お話を聞いてい
ると本当に貴重な
一品だと伝わっ
てきました。店長
のテンションも上
がっていました。
原先生、今度AE
Dの講習会に行か
れるそうです。本
当に頭が下がら
す。又、お話を聞
かせて下さい。
我が家はケーキも
何もない普通の
日でクリスマスも
終わりました。
(大橋)

家族だからこそ、
なんでもって思っ
てしまうことも多
いですね。ぶつけ
えるのも家族で

ね。ケンカするほ
ど仲がいいよいう
こともあります。
原先生からいつも
講座に行かれた時
は話をおききしま
す。なかなか参加
できない私にとっ
ては見習うところ
が多いですね。う
らやましいですね。
我が家にはいつ孫
が出来るのやら、
その前にお嫁さん
を探さないとい
ね。
クリスマス会、い
いですね。ここ数
年クリスマスケー
キを買ってないで
すね。
あまでうすさんの
創作話、いつ見て
もおもしろいす
ね。いつ本になる
んですか？楽しみ
にしています。
(鎌澤)

大みそかからの初
日の出！家族がと
つても仲が良い。
一番幸せな時です
ね。
バレンタインデー
の告白！！ドキド
キしました！
「広報を隅々まで
読みなさい」杉原
先生がいつもおっ
しやってました。
自分のために
事、市の行動、す
べてが見えるのが
広報。それを完璧
に味方につけ、原
先生の実践が楽し
みになっていくの
がいいですね。大
垣のトップ市民モ
デルだと思えます。
(みほ)

行こうと思っただ
けは、お客様との
会話です。
「誰が撞きに來て
もいいんです。」
しろ来てほしいん
です。「撞いてくれ
る人が少ないと、家
族で撞かないと行
けなくて大変なの
でありがたいん
です。」
息子に行きたいとい
うと、二つ返事で
した。
息子も、「いいね。
」
「気持ちがいやんと
する」と喜んでいま
した。
帰って一寝入りし
て、5時半頃に起
きて初日の出を
養老山に行きま
した。
事前に近所どこ
で観れるか、天気

どうかをスマホで
息子が調べて「養
老公園の所なら、
第2駐車場が無料
で開放されるよ。
」という事でそこ
に決めました。
6時半ごろに着
て、さすがに寒か
つたので、「温かい
ものを買ってくれ
ばよかったです。」
と話をしながら
少ながら車から降
りて歩いていると
、売店が空いてい
たので、注文して
お金を払おうと
したら、「今日は無
料ですよ」とうれ
しいサービスに心
がホッと温かくな
りました。他にも
準備の事も考え
ると頭が下がります。
それだけでも来て
よかったです。芝

生広場の方に行く
と、眼下の町の灯
りが宝石を散りば
めたみたいなのと
、夜の薄明りのコ
ン前の薄明りのコ
ンラストがキレイ
で、さっそくスマ
ホを出して、写真
を撮り、すぐに、
社長におめでとう
メールと共に、写
真を送りました。
空気が澄んで、凜
とした感じがし
ます。少しづつあ
たりがしらんでき
て、遠く山に陽が
登り始めると、声
にならない感動
の渦が沸き起こっ
てきました。そこ
にいた全員が感じ
たよりに思います。
秒単位でスマホの
シャッターを切っ
ていました。そし
ても、息子もだ
んなも、日の出

もに「おおー！！」
と歓声をあげて
ました。数分の事
なのですが、ドラ
マのワンシーン、
長回しを観ている
ような、錯覚を覚
えるようでした。
帰りの車の中、息
子は、「今度は、水
線から登る初日の
出をみたいな。」
と、
「これを見ただけ
で、初詣に行った
気分になりました。
」
「いい一年のスタ
ートをきれたと思
います。今年も元
気に頑張ります。
皆様も良い一年
でありますように。
本年も宜しくお願い
します。
終わり

川風

しらいしみほ

1月には行く
2月は逃げる
3月は去る。
毎年バタバタあつ
という間に何も残
らず走りさるので
すが、
それはプライベート
トだけ！
今年の風地蔵は
ゆ〜っくり
いちにち一日を
充実させておりま
す。

「計画をみんなで
立てる」が生きて
きたからかな。
我が家は1月に家
から30キロ離れ
た久留米に
りおんが引っ越し
をしたので
住む場所での職探
しからはじめてい
ます。

最初に勤めた介護
の職場が案外良い
ところだったらし
く
いろんな介護の現
場の実態が今回の
転職で明らかになっ
てきています。
どっぷりいる時は
それが当たり前で、
不満も悶々と湧き
上がってきていま
したが、実際のと
ころ見かけがすご
い立派な会社でも
一歩入ると、施設
従業員がカラーコ
ンタクトに派手な

私服のおしゃれ着
やカラーコンタク
トやアクセサリー
を身に付けて仕事
をしていたり、長
く続かないので、
利用者さんにかか
わる仕事だけをさ
せて、掃除をしな
い、準備をしない
ので、いくつもあ
るトイレがどこも
不衛生で汚い。
うっわ！と思いつ
掃除をしようと思
えば、掃除用具が
ない。手で掃除を
したけど追いつか
ない。老人は感染
症も怖いのに、こ
れでよくやれるな
いと、まだ介護の
仕事について間も
ない子が思うくら
いだから どうい
う内容でしょう。
歌を歌わせている
と暴れないからと、
パート職員がつきつ
きりで1日中歌を
歌わせっぱなしの
光景。入居者さん
のこれまでの履歴
が病院から届くは
ずなので、それを
職員で把握してど
のワードに不安が
るのかとか、どの
行動が嫌なのかを、
履歴から原因を探
りだす。必ず原因
があるのだから
一人一人に合わせ
てこそ、この施設
で暮らす利用者さ
んのサポートが希
望のものに近づく
ように考えること
も大切だとする。
それを、マニユア
ル通りを言わ
事だけを言わ
る

職員さん達をみて、
前の職場とのギャツ
プに驚いたそう。
人を相手にする仕
事。
しかも、認知症と
か、体も動かない
弱者相手の仕事だ
からこそ、
志は高く持つてほ
しいです。最初の
職場はミーティン
グも週に1度はしつ
かり時間をとって
あったそうです。
細かい事ですすが、
トイレットペーパー
は破れやすいので、
シングルよりダブ
ルにしよとか、
何でも先にやって
しまふのではなく、
やらせたら大変な
ことになって後始

末が大変になる、
トイレも、自分で
やろう！とする気
持ちがとつても大
事なので、汚れた
時の職員なので、
丁寧な言葉をかけ
ながら、温浴もし
くは、あたためて
湯で拭きあげてい
たそうです。利用
者さんにとって良
い事を皆が、気が
付いたことを話し
合っていたそうで
す。
介護の始めに半年
の職業訓練では学
科でも実施も理想
を学びます。職員
の服も動きやすい
ものなら何でもよ
いのではありませ
ん。綿じゃやない、
シヤカシヤカの生

地のジャージだと
利用者が破れるそ
うです。だからお
しやれ着の私服で
仕事をする人たち
を見てびっくりし
たんです。おか
げで理想のいい職
場も見つかつたよ
うです。またいろ
いろ学ぶことで、
成長してほしいで
す。
新しい町で、親も
と離れて 自分
生活。
本当の意味で第一
歩ですから、うま
くいかないことも
多々あるでしょう
が、頑張つてほし
いものです。

世界デビュー

昨年のこの時期一通のメール。全て英語。今は便利な時代だ。
「Google 翻訳」で日本語に変換すると「あなたのお庭を出版させてほしい」とのこと。勿論初めての経験。オーストラリアの出版社で上海支店の編集者とやり取り。

全8ページ。英語の文章をこちらで考える必要があり、「水琴窟」の説明が難しく、結局巡り巡って翻訳家の方がまとめていただいた。

原稿を送って1年以上音沙汰なし。出版社のホームページを見たら出版されていて（連絡無しかよ）
仕方なく「Amazon」で自分で購入。しっかり自分の作った庭が紹介されていた。驚くことに自分以外、超有名庭師ばかり。それと平等院鳳凰堂、ホテルニューオータニと一緒に掲載されていた。

どうやって自分を探したのか、どうして選ばれたのか？謎のまま。。。。

「Japanese Garden」 image publishing社 50ドル

庭師 奥田良樹